

消防団員募集

公務災害補償制度 被服の貸与
退職報償金 表彰制度

消防団は、通常は自らの仕事を持ちながら、「自分たちのまちは自分たちで守る」という郷土愛護の精神に基づき、地域の人たちのため、社会のために活動している人の集まりです。
二宮町では、現在約7割の団員が、サラリーマンです。

問い合わせ 消防本部 消防課庶務班 ☎72-0015



出初式一斉放水

Fire Press

二宮町消防団広報紙

平成25年11月10日発行

Vol.11



災害に立ち向かう団結力

私たちは、二宮町の消防団員です。特別な才能を持っている訳ではありません。皆、それぞれの仕事を持ちながら、「自分たちのまちを自分たちで守りたい」という『心』で活動をしています。本年度も新たな仲間が加わりました。修了証(白い紙)を持っている団員が新入団員です。町民の皆様、よろしくお願いします。

「自分たちのまちは、自分たちで守ろう。」



撮影：平成25年4月21日(日) 新入団員訓練(二宮小学校体育館)



救急救命講習会



消防団家族懇親会

ご挨拶

二宮町消防長 橘川 寿郎



本年4月に消防長に就任いたしました。誠に身に余る光栄と存じますが、改めて職責の重大さを痛感しているところであり、我々消防としてやらなければならないことは、職員一人ひとりが自身と誇りの「プロ意識」を持ち職務を遂行し、地域住民の安全・安心を守ることが最大の責務と考えます。そして、消防の使命を果たすことにより、「住民に心から信頼され、期待に応え得る消防」として「災害に強い、住民が安心・安全に暮らせる街づくり」を目指してまいります。

消防団員の皆様には郷土愛の精神に基づき地域の安全安心の確保はもとより、消防団活動を行ううえで家族の理解は必要不可欠と考えており、大変感謝申し上げます。4月6日には、爆弾低気圧による集中豪雨により浸水等、多数の被害が報告されました。このような災害に対応するにあたり消防団の組織力は必要不可欠なものであり、常備消防の充実はもちろんのことですが、更なる消防団の充実強化も求められていますが全国的に消防団員が減少しており、町民の方々の安全、安心によせる関心は災害から地域を守る防災リーダーとして益々高くなってきていますので消防団員の皆様には大変お世話になりますが、ご支援、ご協力をよろしくお願いします。

いつ入団するの!?今でしょ!!

二宮町消防団長 杉崎 一夫



日頃より町民の皆様には、消防団の活動に深いご理解とご協力を賜り心より感謝し御礼申し上げます。消防団は、「自らの地域は自らで守る」郷土愛の精神に基づき、平素は様々な職業に従事しながら、災害発生時には非常勤の地方公務員として災害に対応する組織であり、地域コミュニティの維持や振興にも大きな役割を果たしています。

近年の自然災害は大規模化しており、東日本大震災のような大地震災害の想定される小田原地震や南海地震等危惧されて広範囲の災害対応にも取り組まなければならないと考えられます。

二宮町消防団では、平塚市、大磯町の1市2町で神奈川県消防協会湘南支部を組織し、今年度は平塚市の訓練施設をお借りして火災想定の手合放水訓練を行いました。

また、藤沢市、茅ヶ崎市、平塚市、寒川町、大磯町とで神奈川県消防協会湘南地区協議会を組織しており3市3町合同で「消防団危険予知訓練(S-KYT訓練)」を行い、常に危険の中にある各種災害での活動において安全を確保し任務遂行する為の訓練を2回行いました。

このように、近隣の消防団員とも交流し懇親を深める事も大切な事だと思えます。二宮町だけでなく多くの消防団員との交流は、様々な職業人の異業種交流会でもあり、地域社会との接点を持つため、とても良い機会が得られ、その活動で得られた結束力や絆は一生を通じて大事な宝物となっていきます。「やってみたい消防団 やってよかった消防団」を目指して日々活動に励んでいます。

あなたも是非「新たな消防団の力」となって参加してみませんか!!



S-KYT訓練 (湘南地区協議会)



湘南支部訓練

しよいこ
背負子によるホース延長

高所より放水

消防団員であることの誇り

玉田 義典 (第一分団)

消防団に入団して1年半が経過しました。

入団当初は、緊張感のある訓練や頻繁に行う点検等、想像を超えた真剣でまじめな活動に驚きましたが、同時に先輩団員の熱心な取り組みや消防団OBの方々等の消防団

を支える強力な地域のサポートに感銘を受け、今では消防団員であることに誇りを感じています。

消防団の活動の魅力は、素晴らしい団員やOBの方々を知り合う事ができ、様々な良い感化を受けられることです。特に、二宮町に引っ越してから、近所に知り合いが少なかった私にとって、多くの方と知り合えたこと、本当に嬉しく思っています。

又、消防活動の技能を学ぶ事も面白いです。本業で海外のオフショア作業船で仕事をすることがありましたが、その際に参加した船上での消火講習では分団の訓練との違いを感じながら、普段なら退屈するところ、強い関心を持って参加することができました。

現在は、本業と消防団活動のスケジュール調整に苦労していますが、消防団員としての貴重な時間を噛みしめて、今後も微力ながら頑張っていきます。



消防団に入って

奈良 智志 (第五分団)

平成24年度に入団し、早一年半が経過しました。入団のきっかけは町行事の絡みから声を掛けて頂いた事でした。分団に知り合いが居た訳でも無く、分団の活動すら知らなかった私は、仕事以外に負担を増やした上に、全く知らない方達の中で務まるのか?と不安でした。それでも「生まれて35年間暮らした二宮町へ何か恩返しが出来たら」、「災害時に家族が助けて貰うことが出来たら」、「仕事の幅が広がるのなら、、、」という思いと共に、何度も自宅に足を運んで頂いた、分団長、副分団長の方への信頼感が、入団を後押ししてくれました。

入団当初は緊張の連続でしたが、近隣地区の様々な年齢の諸先輩に囲まれ、厳しくも楽しくもある様々な指導を受けながら、現在まで活動を行ってきました。

今では、分団活動が生活にハリを与え、無くてはならない事の一つとなっています。

分団の皆さんに出会えた事、町の諸行事に参加して人の繋がりがりや歴史を学べた事、そして、意義有る防災活動に参加出来る事、分団活動では様々な事が得られると思えます。





今までを振り返って

土井 篤 (第三分団)

今年度で消防団活動は4年目になります。当時、元町地区に引っ越してきたばかりで地域になじみたい。また、子どもが生まれる前に救急隊にお世話になり消防活動に協力したいと思ったことが入団のきっかけです。入団し初めての訓練で、先輩達の機敏で正確な筒先・放水操作を見させて頂き「カッコイいなあ、自分もあのように上達したいなあ」と強く衝撃を受けました。先輩の極め細やかな指導のもと定期訓練で操作方法を学び、訓練後の打ち上げの準備や片付けを同期入団者と協力しながら行ったことを覚えています。

3年目の昨年、私達の分団は操法大会を経験しました。5月中旬から7月下旬にかけて約40日間の練習がありました。暑い時期の練習、仕事が終わってからの練習は辛いときも多々ありました。選手のひたむきな努力やバックアップする団員の献身的な支えもあり、15人が1つになり輝いた40日間でした。大会当日、厚木の消防学校に家族・OB・町の方々に大きな声援を頂いたとき大きな感動が込み上げてきたことを覚えています。

今年度で4年目です。レクリエーションの企画・準備を担当する機会や後輩に訓練のアドバイスをする機会も増えました。これからは、コミュニケーションを上手に取り、他団員の安全や体調に気を配りながら、身に付けた知識・技術を素早く実践できるようにしていきたいと思っています。また、訓練や火災予防週間にたくさんのOBの方々が足を運んで下さいます。思い出話・苦労したこと・努力したことなどを聞いていると消防団活動に対する熱意や愛着を強く感じます。諸先輩が築いてきたものを受け継いで、平穏な二宮町を守れるように努力していきたいと思っています。

自分のことで精一杯だった私が消防団に入団したことでこの町に住むということは様々な人に支えられて暮らしているということを知りました。

二宮で暮らしていて二宮になじむためには消防団に入団するのが1番です。孤独に感じている方や毎日単調な生活を送っている方は入団して私達と一緒に充実した日々を送りましょう。普段の仕事や生活で味わえないものが消防団活動にはあります。



合同訓練 (二宮高校)



訓練が終わって



二宮町防災訓練 (町民運動場)



消防団の魅力とやりがい

町田 新 (第二分団)

私は二宮に引っ越して十五年、初めは誰一人として知人がなく会社と家の往復だけでした。消防団に入団して、地域の方とのふれあいが多く、またかけがえない仲間と出会う事が出来ました。

入団前は仕事や家庭との両立が難しいのかなと考えていましたけど思い切って入団を決意した時、応援してくれる家族や消防を通じて、多くの人と知り合えた事を大変、うれしく思います。また消防活動において、今まで体験した事のない訓練がありますが、先輩団員の方が一つ一つ丁寧に教えてくれます。訓練は楽ではありませんが、大好きな二宮町、家族、仲間を守る為、また自分自身の成長の為にこれからも消防活動に力を入れていきたいと思っています。



かけがえない仲間と共に

倉嶋 仁 (第四分団)

私が消防団に入団して四年半たちました。入団する前は全く興味が無かったのですが、先輩から入団を勧められたことや家族の後押しもあり、入団を決意しました。入団当初は伝統や、組織の厳しさに戸惑いましたが、先輩方の厳しく、だけど温かいご指導もあり、今では頼もしい先輩方や同期、頼りになる後輩と共に、訓練や地域活動などの消防団活動を頑張っています。

入団したことで様々な業種、年齢の人と知りあえたり、地域の方に顔を覚えていただいたりして、仕事では経験できない経験をさせてもらっています。今後も家族や地域の方に支えられながら地域の安全を守ると共に自分自身が成長できる様に頑張っていきたいと思っています。

30秒間サイレンが鳴ります。 夜9時 (火災予防運動期間中)

- 秋の火災予防運動 11月 9日～15日
- 歳末火災特別警戒 12月25日～31日
- 春の火災予防運動 3月 1日～ 7日

期間中、「火の元点検」を啓発するため21時より30秒間サイレンを鳴らします。火災が発生しやすい季節なので、御理解のほど、よろしくお願ひします。

防災意識を高めるため、消防車による広報活動・巡回の他、消火栓・防火水槽の点検等を行います。